

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	<b>簡易点検</b>
<b>事務事業名</b>	新型インフルエンザ対策事業	<b>シート番号</b>	A 一般事務事業 11-231
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 健康部 保健所 部 感染症対策 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	中井

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無	
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	平成21年の豚インフルエンザの流行を契機に、対策を行うため当事業を開始した。また、平成24年に制定された「新型インフルエンザ等特別措置法」に基づき策定した「新型インフルエンザ等対策行動計画」に沿って、新たな新型インフルエンザの発生に備え、その対策を講じる必要がある。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	全市民			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	新型インフルエンザの脅威から市民の生命を守り、健康・生活を保持するため、可能な限り感染の拡大を抑制し、健康被害を最小限とするとともに、社会活動や経済活動への影響を最小限とするため、新型インフルエンザ発生時に迅速かつ適切な対応を行うことができるようにすること。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	新型インフルエンザの発生に備え、必要な資材の備蓄及び体制の整備等を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先					

**Ⅲ. 投入量**

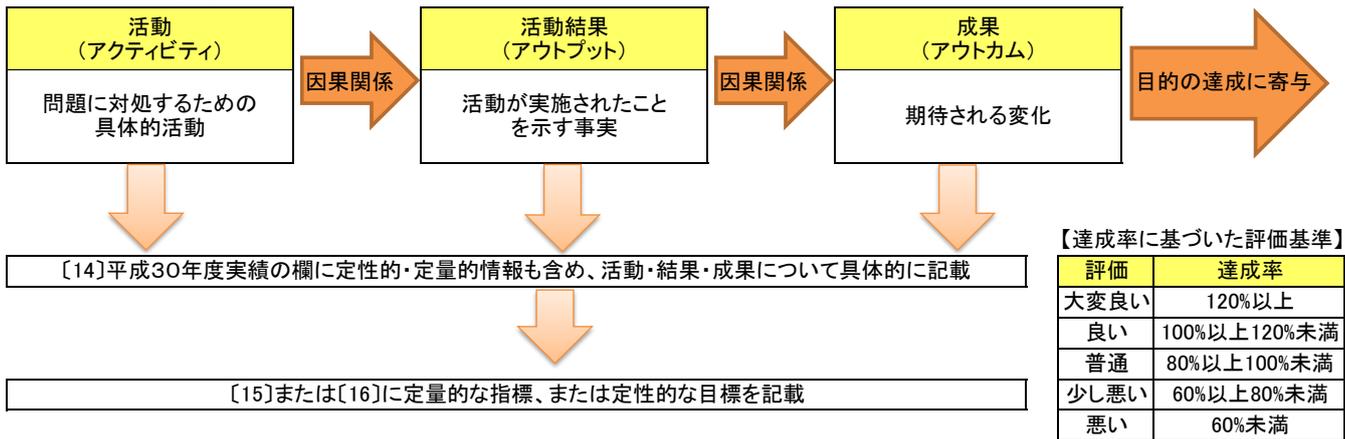
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	986	858	803	903	
	主な事業費内訳	需用費	千円	985	783	788	798
		その他(役務費等)	千円	1	75	15	105
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	986	858	803	903
	12	人件費 (b)	千円	8,528	9,020	7,380	7,290
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	9,514	9,878	8,183	8,193	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	新型インフルエンザ対策事業	シート番号	11-231
-------	---------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績																															
活動実績と成果	14	○訓練の開催 消防局を含む合計41名の疫学調査班員に対し疫学調査班研修を実施し、感染症の感染経路及び感染予防対策等に関する講義、PPE(個人防護具)の着脱演習及び疫学調査・患者搬送についての演習を行った。 ○訓練への出席 以下の訓練及び会議等へ出席し、新型インフルエンザ(鳥インフルエンザ含む)に関する最新の知識を得るとともに、関係機関との連絡、患者搬送、個人防護具の脱着手順の確認等を行った。 ・高病原性鳥インフルエンザ防疫実地訓練 ・大阪港・阪南港検疫感染症総合措置訓練 ・関西空港検疫所検疫措置訓練 ・大阪府和泉保健所エボラ出血熱疑似症患者搬送訓練 ・泉州地域高病原性鳥インフルエンザ防疫対策会議 ○備蓄について ・堺市立総合医療センターとのマスクの保管に係る協定マスク及びPPEの備蓄計画に基づき、備蓄用マスク50,000枚及び個人防護服(PPE)セット250セットを購入するとともに、処理方法の確認及び廃棄等を行った。																													
	15	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標名</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成28年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">新型インフルエンザ発生に備えた訓練への積極的な参加及び実施</td> <td>目標値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	新型インフルエンザ発生に備えた訓練への積極的な参加及び実施	目標値	2	2	2	5	実績値	2	2	2		達成率	100%	100%	100%		評価	良い	良い	良い		算出方法・設定根拠など 平成30年度までは訓練の実施回数のみを指標としていたが、令和元年度より大阪府等が実施する訓練への参加回数も合わせて指標とした。	
	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																									
	新型インフルエンザ発生に備えた訓練への積極的な参加及び実施	目標値	2	2	2	5																									
実績値		2	2	2																											
達成率		100%	100%	100%																											
評価		良い	良い	良い																											
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">目標</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成28年度</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 20%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マスク及び個人防護服(PPE)セットの備蓄</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	マスク及び個人防護服(PPE)セットの備蓄						目標に対する実績 新型インフルエンザ発生時に疫学調査及び患者搬送を行うために必要な資材の在庫を確認し、今年度購入が必要とされた備蓄用マスク及び個人防護服(PPE)セットの購入及び保管を行った。																	
目標	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																										
マスク及び個人防護服(PPE)セットの備蓄																															

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>海外でのエボラ出血熱やMERS発生及び近年の感染症を取り巻く状況もあり、庁内及び庁外の関係機関との訓練を実施し、連携の強化を図ることができた。新型インフルエンザ発生や拡大を防止するためには、その予防対策や発生時の対策が、総合的かつ適切に実施されることが極めて重要となるので、今後も関係機関と引き続き連携するとともに、訓練等に取り組んでいく必要がある。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。